

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2025年(令和7年) 12月17日(水)



あぜ道軽トラ市 遊びに来て

日南市の住民グループ「下塚田ふるさと応援隊」(作本眞悟会長、18人)は21日午前10時から、同市の下塚田公民館周辺で「田んぼあぜ道軽トラ市」を開催する。初めての試みで「消費者も生産者もお互い笑顔になるような交流イベントにし、地域の魅力を発信したい」と意気込んでいる。

下塚田地区は人口117人、高齢化率62%(1日現在の)「いきいき集落」持続可能な地域社会を目指して、住民や出身者ら12人が2020年4月、同応援隊を組織し、さまざまな地域振興活動に取り組んでいる。春は山あいの田園の上を約千匹のこいのぼりが泳ぐ「鯉のぼり祭り」、秋はコスモス祭りを開催。軽トラ市はさらに交流人口を増やし、多世代間交流を深め、生産者の販路拡大にもつなげようと企画、9月から準備を進めている。

当日は公民館前に広がる田んぼのあぜ道約350分に、軽トラックやキッチン

日南・下塚田地区 21日に初開催



21日に開催する「田んぼあぜ道軽トラ市」をPRする下塚田ふるさと応援隊のメンバーら

カーなど40台以上を並べる予定。地元特産のマイヤーレモンやミカンをはじめとした旬のかんきつ類、ハクサイ、ダイコンなどの冬野菜、加工品を販売する。周辺地域の生産者も農産物などを持ち寄り、盛り上げる。レモンのつかみ取り、餅つき大会や軽トラ荷台でのコンサートなども行う。

作本会長は「地元だけでなく、周辺地域も巻き込んだらいい」と呼びかけ、雨天決行。午後2時まで、実行委員長の作本和弘さん(0990-95990)に問い合わせ(秋吉啓介)